

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 10p	<u>防犯・消費生活</u> 最近増加している一人暮らし等の高齢者を狙った強盗・詐欺にまきこまれない対策について言及は必要でしょうか。特出しせず広く防犯対策の中で読めばいいでしょうか。	市民生活課	委員のおっしゃるとおり、一人暮らし等の高齢者が強盗や詐欺にまきこまれる事案が全国で発生しておりますが、その時々流行りの手口により被害者層も変わりますので、総合計画においては犯罪の種類の特出しせず、警察等関係機関と連携し柔軟に対応してまいりたいと考えております。	戸塚康史
基本 計画 36p	<u>学校教育</u> 1 学校教育の充実 地域の様々な職種や専門家といった外部講師を活用した授業の充実についてお考えは持っているでしょうか。（キャリア教育ではなく、通常授業への参加（特別非常勤、特別免許の活用）） お考えがある場合には言及が必要でしょうか。	学校教育課	・令和6年度は、4人の免許を有しない非常勤講師の方に、市内の小中学校で授業を行っていただいております。第6次富士宮市総合計画への記載の予定はございませんが、今後も、こうした「免許を有しない非常勤講師制度」を活用するなどして、地域の様々な職種や専門家といった外部講師を活用した授業の充実を推進してまいりたいと思います。	戸塚康史
基本 計画 40p	<u>スポーツ・レクリエーション</u> 様々な障害やハンディのある方も楽しむ、もしくは一緒にスポーツを楽しむ環境づくりの視点での言及は必要でしょうか。	スポーツ振興課 障がい療育支援課	障がいやハンディのある方たちも楽しめる環境づくりは必要であると考えます。 計画には、誰もが一人ひとりの体力や好みに合わせてとの表記に留めますが、今後も合理的配慮に基づいた環境づくりを進めてまいります。	戸塚康史
基本 計画 46p	<u>健康づくり</u> 市民一人ひとりのがん検診の受診状況やワクチン接種状況を把握して勧奨していく仕組みづくりについてお考えは持っているでしょうか。 お考えがある場合には言及が必要でしょうか。	健康増進課	現在、個人や職域で受けているがん検診や予防接種の正確な状況は把握できないため、一人ひとりの状況を把握し勧奨する仕組みづくりは難しい状況です。国が示している職域等のがん検診の受診状況の把握については、システムや情報の精度、データ管理等の課題があるため、今後も国の動向を注視してまいります。市で実施しているがん検診や予防接種については、様々な機会を通じて広く周知してまいります。	戸塚康史
基本 計画 48p	<u>医療</u> 地域包括ケアに関連して、市内のどこに住んでいても訪問診療が受けられる体制づくりが求められますが言及は必要でしょうか。	高齢介護支援課	施策1 地域医療体制の確保の「地域医療環境」の中に在宅医療・介護連携推進事業（訪問診療が受けられる体制づくり）を包含しています。	戸塚康史

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 32p	<p><u>こども・若者・子育て</u></p> <p>政策を「こども・若者・子育て」として、こどもを追加し、基本方針にも「～こどもまんなか富士宮～を実現するため、こども施策の充実を図るとともに…」と記載がありますが、施策の中に「こども」を中心としたものが入れていません。関連計画にこども計画が挙げられていますが、総合計画の施策としてぜひ入れていただきたいです。</p> <p>施策を1つ追加して、</p> <p>「すべてのこどもの健やかな成長への支援」を加えることを提案します。</p> <p>国の方針であることも鑑み、最上段に</p> <p>○こどもの権利に関する普及と啓発を行うと共に、こどもの権利を保障するための制度や仕組みの構築に努めます。</p> <p>を追加を提案します。</p> <p>そこへ例えば</p> <p>1, 地域における子育て・子育ての支援の中から</p> <p>○妊産婦・こどもやその家庭の保健・福祉に関し包括的な支援を行います</p> <p>○児童虐待のない社会を目指し、啓発や相談等を行い、虐待予防に努めます</p> <p>を移動させてはいかがでしょうか。</p> <p>また、これを追加するのであれば、3発達が気になる子の療育支援の施策を包含してもよいと考えます。</p>	こども未来課	<p>「すべてのこどもの健やかな成長への支援」については、政策全般に含まれている内容であることから、施策については現行のとおりとさせていただきます。</p> <p>なお、こどもの権利の保障については、基本方針に「こども・若者の権利を保障し、」を追加することで、各施策を包含する形でその内容を加え、こども・若者・子育て政策として推進していきます。</p>	鍋島安佐子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 32p	<u>こども・若者・子育て</u> 1 地域における子育て・子育ての支援 ○子を望む家庭や妊産婦及び乳幼児の相談支援体制を構築し、包括的な支援を行うとともに、男女ともに妊娠前から健康管理について正しい知識の普及啓発を推進します の部分ですが、支援は妊娠前から乳幼児までという印象を受けます。相談支援体制については、切れ目ない支援を目指していただきたいので ○子を望む家庭、妊産婦、乳幼児を含むこども及び子育て世帯への切れ目ない相談支援体制を構築し、包括的な支援を行うとともに…とすることを提案します。	健康増進課 こども未来課	施策1に「切れ目のない」を追加し、「子を望む家庭や妊産婦及び乳幼児の相談支援体制を構築し、切れ目のない包括的な支援を行うとともに、男女ともに妊娠前からの健康管理について正しい知識の普及啓発を推進します。」に修正します。	鍋島安佐子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 32p	<p><u>こども・若者・子育て</u></p> <p>1 地域における子育て・子育ての支援</p> <p>○地域における子ども・子育て支援事業の提供体制の充実を図るとともに、市民との交流・連携を行うことにより、地域全体で子育てを行う機運を高めます。とありますが</p> <p>事業の提供体制の充実に加え、「子育てしやすい環境整備に取り組む」ことを明記していただきたいです。</p> <p>また、地域における子育て・子育ての支援に関しては第5次総合計画の後期でも掲げられていた施策ですし、今後を見据えて策定することが必要だと考え、「機運を高める」に留まらず、地域全体で子育てを行う「環境づくりに取り組みます」と明記してはいかがでしょうか。</p> <p>そして、地域全体で子育てを行うためには、子育てについて関心を持ち、支える人材を増やすことも必要と考えます。</p> <p>さらに、少子高齢化を意識するのであれば、市民との交流・連携だけでなく、市役所内の複数の課が連携し、横断的に取り組むことをより意識する必要があると考えます。</p> <p>したがって、</p> <p>○地域における子ども・子育て支援事業の提供体制の充実、子育てしやすい環境整備を図るとともに、子育てについて関心を持ち、支える人材を増やして、市民との交流・連携、また、庁内全体での連携を行うことにより、地域全体で子育てを行う環境づくりに取り組みます。</p> <p>とすることを提案します。</p>	こども未来課	<p>子育てしやすい環境づくりの推進については、基本方針において「結婚・子育ての思いが実る環境づくりに努めます。」に含まれており、各施策を実施することで推進していきます。</p> <p>地域全体で子育てを行う機運を高めるため、施策1に「企業など」を追加し、「地域における子ども・子育て支援事業の提供体制の充実を図るとともに、市民や企業などとの交流・連携を行うことにより、地域全体で子育てを行う機運を高めます。」に修正します。</p>	鍋島安佐子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 33p	<p><u>こども・若者・子育て</u></p> <p>5 若者の思いが実る環境づくり</p> <p>挙げられている〇の内容は、「結婚、出産、子育て」に偏っている表現に感じます。若者の希望はこれらに偏っていないはずです。</p> <p>結婚、出産、子育てを含み、希望を支援することは大前提で必要ですが、まずは若者に選択肢を提供することが必要だと考えます。したがって</p> <p>○若者が自分の人生において、結婚、妊娠、出産を含み多くの選択肢の中から希望する人生を歩むことができるよう若い世代を支援します。</p> <p>を追加することを提案します。</p>	健康増進課 こども未来課 市民交流課 企画戦略課	<p>【企画戦略課】</p> <p>若者は、学びたい分野や就きたい職業、住む場所、起業や転職など、多様なライフプランを模索していると思います。そのため、社会全体として若者の選択肢を広げ、自己決定を尊重する姿勢を示すことは、単なる「結婚・出産の支援」ととどまらず、人口動態の安定、地域経済の活性化、さらには豊かな地域社会の形成にも直結する重要なことだと言えます。施策については現行のとおりとしますが、結婚・出産・子育てを含む支援を大前提として確保しつつも、それだけに偏らず、若者が自らの人生設計を自由に描ける環境を整えていくことを、関連部署と協議します。</p>	鍋島安佐子
全体	<p><u>関連計画</u></p> <p>審議会で施策の内容の文言などを検討したのちに、各ページに掲げられている現行の関連計画について総合計画の策定に伴って追記修正など検討していただけるという理解でよいですか。</p>	企画戦略課	<p>各政策に掲げる「関連計画」は、総合計画の各政策に紐づく分野別の基本計画や方針、戦略などになります。総合計画は全体の方向性を示す“骨格”であるのに対し、「関連計画」は具体的な施策の実現手段や実施時期、推進体制などを示したものとなります。</p> <p>従いまして、総合計画の新たな方向性が決定すれば、その方向性に合うように、次期関連計画の策定・見直し時に、追記修正することになります。それにより、上位計画である総合計画と関連計画の整合性が保たれ、政策・施策が一貫性をもって進められることとなります。</p>	鍋島安佐子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 13p	<p><u>防災・減災</u></p> <p>3 防災施設等の設備</p> <p>○生活者視点から避難所の環境改善を目指し、防災倉庫の設置や非常用食料等の防災資機材の整備に努めます。</p> <p>とありますが、避難所の環境改善には、こどもを含むあらゆる世代の男女の声を反映することが具体的に示されていることが重要だと考えます。</p> <p>したがって</p> <p>○新生児を含む老若男女すべての生活者視点から避難所の環境改善を目指し、</p> <p>を追記することを提案します。</p>	危機管理局	避難所の環境改善については、災害関連死を防ぐことも目的の一つとしております。そのため、すべての避難者の方の視点から取り組むことが必要と考えております。それらの意味も含めて「生活者視点」としてしております。	鍋島安佐子
基本 計画 16・ 30・ 44・ 58	<p><u>成果指標</u></p> <p>各基本目標について、客観指標と主観指標が記載されていますが、内容が指標名のみであり、審議会答申に向けた指標・目標設定の妥当性の判断が困難だと思われます。</p> <p>各指標ごとに現状値と目標値を記載し、目標値設定の考え方、また、各指標が第5次から継続のものか新規のものかも示していただきたいと思ひます。</p>	企画戦略課	<p>成果指標につきましては、第5回の会議で客観指標の現状値と目標値を、お示しする予定です。基本目標1～4の客観指標についても、第5回の会議でお示しする予定です。</p> <p>なお、主観指標につきましては、現状、把握している数値がありませんので、これから実施する市民意識調査の結果をもとに、現状値と目標値を設定していくこととしています。</p> <p>そのため、主観指標については、現状値を測定するための市民意識調査を実施することにしております。</p>	市川顯
基本 計画 2p	<p><u>コミュニティ活動</u></p> <p>会議でもお伝えしましたが『区民館』が子育て世代の女性が利用しやすい場所にしていきたい。そのために。。。。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性や子育て世代向けの交流会の定期開催。 ・児童館要素（絵本やおもちゃの設置、子供用品のリサイクル受付など） <p>をぜひ進めていただきたい。</p>	市民生活課	「区民館」につきましては、自治会が自治会加入者の会費等により区民のための施設として設置し管理しているものであり、その使用については当該区民館の管理者である自治会が決定しておりますので、使用につきましては、当該区民館の管理者である自治会にご相談いただければと思います。なお、交流センターはどなたでもご利用できますので、そちらもぜひご活用ください。	金子充子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 33p	<u>こども・若者・子育て</u> 『訪問事業』についての意見です。子育ては親にとっては長期戦で、それぞれの年代で悩みがあるかと思います。市の取り組む『赤ちゃん訪問』の家庭訪問だけでなく、小学校、中学校、高校でも家庭訪問を実施し、潜在的なネグレクトや虐待、貧困問題の早期発見にも繋がるかと思っています。	こども未来課 健康増進課	「赤ちゃん訪問」では、出産直後の母子の状況を確認し、ご家族の悩みや不安に対応しています。その後は必要に応じて各種教室や健診などの保健事業で早期発見と相談を行っています。 保育園・学校等に就園・就学後は、日常的により身近で普段の子どもの状況を継続的に見ている保育士や教師の目があるため早期発見され、相談に繋がっており、必要に応じて家庭訪問を行っています。潜在的なネグレクトや虐待、貧困問題の早期発見には、子どもにとって身近な大人の目と気づきが必要であること、気づいた時の大人の対応と関係機関との連携が重要であることを今後も啓発していきます。	金子充子
基本 計画 22p	<u>自然環境</u> 目指すまちの姿 豊かな自然環境は、保護活動によって守られているエリアだけでなく、里山の生態系のように人間の営みがあってこそ維持されているエリアがあり、どちらも重要です。特定の種や希少な生態系を守るという観点だけでなく、自然を利活用しながら守っていくといった観点も含めるべきではないでしょうか。	花と緑と水の課	ご意見のとおり、特別なエリアや種を保存する以前に、そこに暮らす人が生活する中で自然や生態系の恵みを享受できることが重要だと考えています。その点がよく伝わるよう、施策の内容1の部分に以下を追加します。 「自然環境や生物多様性と私たちの暮らしについて、広報・PRします。」	小野亜季子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 22p	<u>自然環境</u> 貢献するSDGs目標 第5次の総合計画と比較すると、「11.住み続けられるまちづくりを」と「17パートナーシップで目標を達成しよう」という2項目が加わったことがとても重要な点だと思いました。生物多様性が守られていることが、人々の豊かな生活や経済活動の発展に大きく関わっていることや、生物多様性を守るには、多様な主体が連携しなければ達成することができないという考えが反映されているのではないかと思います。改めてこの2項目を入れられた意図を教えてください。	花と緑と水の課	ご意見のとおり理由により、生物多様性を守っていく側面から、「11.住み続けられるまちづくりを」と「17パートナーシップで目標を達成しよう」を追加しました。	小野亜季子
基本 計画 22p	<u>自然環境</u> 基本方針 上記2のような意図で11と12を入れられたのであれば、そのことを基本方針の中にも表現していただきたいです。生物多様性保全のためには、直接的に自然を守る保護団体だけでなく、企業や教育機関など、あらゆるステークホルダーの協働が重要だということが様々なところで叫ばれています。特に、企業活動は自然環境に大きな影響を与えやすく、自治体や保護団体だけでは豊かな自然環境を守ることはできません。一部の自然好きな人々が行う活動ではなく、一般市民も含めた全ての人が生物多様性の意味を理解し、それぞれの役割の中で、生物多様性保全に寄与していく意識が必要なのではないでしょうか。	花と緑と水の課	ご意見のとおり、富士宮市の恵まれた自然をしっかりと保全し／今住んでいる人・訪れる人・次世代の人のために／さまざまな立場の人たちと共に取り組むことが重要だと考えております。このことから、基本方針中に「様々な人と」の文言を追加します。 「富士山麓でこれまで受け継いできた優れた自然について、 <u>様々な人と自然環境保護・生物多様性保全策を積極的に推進します。</u> 」	小野亜季子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本計画 22p	<u>自然環境</u> 1 生物多様性保全の推進 生物多様性保全を推進するには、まず、その意味と自分たちの生活とのつながりを正しく理解することが重要だと思います。そうでなければ、パートナーシップで目標を達成することは難しいのではないのでしょうか。「脱炭素」と同じくらい「生物多様性保全」の意味が広く一般市民に浸透するよう、普及啓発が必要だと考えます。	花と緑と水の課	ご指摘のとおり、この総合計画のほか現在策定中の環境基本計画及び生物多様性地域戦略においても、まずは生物多様性についての広報啓発が必要と考え、取り組んでいく所存です。施策の内容1の部分に以下を追加することで、生物多様性への理解を得る（深める）ことから始めたいと思います。 「自然環境や生物多様性と私たちの暮らしについて、広報・PRします。」	小野亜季子
基本計画 22p	<u>自然環境</u> 1 生物多様性保全の推進 案で出している文だけでは、希少な生物の保全が生物多様性保全だと誤解を招く恐れがあると思います。希少な生物の保全ももちろん重要ですが、まずは先に、種や生態系が多様であることを目指した保全を行うということを示された方がいいのではないのでしょうか。	花と緑と水の課	誤解を招かないよう、施策の内容1中「「希少野生動植物」を「多様な生態系」に改めます。	小野亜季子
基本計画 22p	<u>自然環境</u> 2 自然環境保護活動の実施・支援 ○富士宮市域自然調査研究会の調査により市域の自然環境を把握します とありますが、これらはオープンデータ化される予定はありますか。自然情報が可視化され市民もアクセスできると、保全計画が立てやすくなるなど活動が促進されると思います。	花と緑と水の課	本調査は昭和63年から開始され、とりまとめとして刊行された冊子「富士宮市の自然」が、現在第5次調査分までHPに掲載されております。オープンデータ化については、今後対応していく予定です。	小野亜季子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本計画 30p	<p><u>環境 客観指標</u></p> <p>OECMの面積を項目に挙げられていますが、登録を目指しているサイトとして、どのようなサイト（公園、社有林、財産区等）をイメージされていますか。また、市として目標の数値はありますか。生物多様性地域戦略に入っているのだと思いますが、せっかく表立ってOECMの面積を指標として挙げられているのだとしたら、基本計画の中にもOECMの登録につながる施策を具体的に示した方がいいのではないのでしょうか。</p>	花と緑と水の課	<p>客観指標については、OECMの面積から「自然共生サイトの数」に変更しました。本市での国立公園等保護地域の広大さを考えると、OECMより自然共生サイトとした方が、増えたことがわかりやすいと考えたからです。</p> <p>これに伴い、主要な事業中に「自然共生サイト認定支援」の記載を追加し、企業などと共に取り組んでいきたいと考えます。</p> <p>自然共生サイトは、里地里山の中の限定エリア、公園、社有林などをイメージしています。</p>	小野亜季子
基本計画 32p	<p><u>こども・若者・子育て</u></p> <p>1 地域における子育て・子育ての支援</p> <p>・「地域や関係団体と連携し、こどもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます」と記載がありますが、33ページの（主要な事業）中の「放課後児童健全育成事業」では、病児の預かりを行うことが難しいため、こどもが病気になった時は保護者が仕事を休むか、遠距離の実家に預けるしか選択肢がない保護者もいます。（主要な事業）の欄に、病児・病後児保育事業の記載はありませんが、連携できる事業でしょうか。</p>	こども未来課 保育支援課	<p>市立大宮保育園では病児・病後児保育を実施しており、小学校3年生までを対象としています。要件を満たす方であれば放課後児童クラブの利用者についても利用が可能ですので、引き続き制度の周知等を行ってまいります。</p>	佐野智史
基本計画 32p	<p><u>こども・若者・子育て</u></p> <p>1 地域における子育て・子育ての支援</p> <p>・「地域や関係団体と連携し、こどもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます」と記載がありますが、33ページの（主要な事業）中の「放課後児童健全育成事業」では、「夏休み期間だけの児童の預かり」を希望する保護者の需要が多く、現状は全ての需要に対する受け入れができない状態です。「夏休み期間だけの児童の預かり」に対応できるその他の事業はありますか？</p> <p>多様な居場所づくりの推進をおこなうため、他の市では、「放課後子供教室」を行っている市もありますが、富士宮市ではそのような連携できる他の事業はありますか？</p>	こども未来課	<p>夏休み期間の児童の預かりに対応できる事業としては、ファミリー・サポート・センターがあります。なお、利用のためには会員登録や、預かりに対応できる会員との調整などが必要になります。</p> <p>また、富士宮市において放課後子供教室は行っていませんが、現在、こどもの居場所づくりを行う団体への支援策を検討しています。</p>	佐野智史

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本計画 32p	<u>こども・若者・子育て</u> 1 地域における子育て・子育ての支援 ・「地域における子ども・子育て支援事業の提供体制の充実を図るとともに…」と記載がありますが、ひとり親家庭のお子さんの中には、経済的な事情で夏休み等にこどもだけで自宅で一日過ごし、朝食や昼食を満足に取れないお子さんもいると聞きます。食育の面からも、経済的な面からも、こどもの居場所づくりとしての受け皿になるような「こども食堂」を含む関連の事業はありますか？	こども未来課	こどもの居場所づくりの取組として、現在、こども食堂などを行っている団体への支援策を検討しています。	佐野智史
基本計画 24p～ 27p	<u>景観 花と緑・水辺</u> 景観の要素の中には、水や緑も含まれると思います。 富士山を中心とする景観と公園や緑地など身の回りの景観があると思います。別々に分けなくて、花と緑・水辺を公園・緑地等にし、景観の中に項目で入れ込む等はどうでしょうか？何故分けたのか？教えていただければ幸いです。	企画戦略課	「序論」の「第3章 富士宮市の現状」の「(3)地域イメージの形成」にも示したとおり、「景観」については、自然景観だけでなく、歴史的な景観も含めて、富士山が美しく映えるまちとして、景観形成を誘導していくこととしています。市民の皆さんが、富士宮市で誇れるもの・将来まで残したいものについて、「美しい山、川などの自然資源」としています。 「花と緑、水辺」については、本市では、花と緑と水辺を、特に力を入れるべき政策として、花壇づくりの活動や河川愛護活動など、市民との協働により、豊かな自然の更なる魅力の創出を図りたいことから政策を分けています。	濱岡節子
基本計画 51p	<u>地域福祉</u> 関連計画と生活支援体制整備との関係は？	高齢介護支援課	関連計画である「地域福祉推進計画」）では、基本目標1 地域で支えあえる仕組みづくりー【基本施策②】 地域福祉の担い手づくりにおいて、生活支援体制整備事業との連携について記載しています。	井口晴道
基本計画 53p	<u>高齢者福祉</u> 介護保険サービスの適正な利用⇒自立した生活を送れるようになるようになることの中で、介護サービスの元気になったことでの卒業や地域活動への移行の意識付け（保険者としての）	高齢介護支援課	施策 福祉環境の整備・充実の中で位置付けるとともに、介護保険事業計画で健康づくり・介護予防の推進について今後も取り組んでまいります。	井口晴道

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
基本 計画 54p	<u>障がい者福祉</u> 若者・高齢者を含め精神障害者の地域生活での支援・医療機関とつなぐ困難さは。	障がい療育支援課	まず、精神障がいにおける課題として、当事者や家族が「障がいの状態である」「治療が必要な状態である」ということを受容することにより、支援や医療機関につなげていくという段階があります。 また、支援や医療機関につながったとしても、精神障がい者は、一見すると障がいがある人に見えないため、精神障がい者本人が抱えている障がいについて周りの理解を得ることが難しい傾向にあり、生きづらさや孤独を抱えやすくなっています。 このため、精神障がいについての広報や講座などの周知が大切と考えます。	井口晴道
基本 計画 56p	<u>社会保障</u> 生活困窮者の中で、お金の使い方が悪い事で、生活が困窮することがあり、家計の支援について幅広く（若年・高齢者）年代の支援が伴走支援により強化された取組が助かる方が増える。	福祉総合相談課	生活困窮者自立支援事業の中に家計改善支援事業があり、御提言にあるような状況の方を伴走支援しております。 引き続き取り組みを進めてまいります。	井口晴道
基本 計画 2p	<u>コミュニティ活動</u> 地区社協・民生児童委員・主任児童院の依頼、男女共同参画、国際交流の民間団体、交通安全（様々な民間団体）、防犯 基本方針・主要事業、防災・現在、消防 全部自治会活動であるが、ある特定の人が役をやっているのか。 基本目標1くらし・安全は全部、自治会におまかせではないのか。この項目は自治会活動ではないのか。	市民生活課	委員のおっしゃるとおり、地域福祉活動、自主防犯活動、自主防災活動等は地域コミュニティの中心的な団体である自治会の存在なしには成り立たないものと考えております。 市としましては、コミュニティ活動の中で自治会が地域コミュニティの中心的な団体であると位置づけた上で自治会の持続可能な運営を支援することを基本方針として掲げております。	井口晴道
基本 計画 1p	基本目標の将来像の、最後の部分の安全・安心に暮らせる地域社会を形成します。⇒自治会があればこそではないのか。	市民生活課	同上	井口晴道

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第3回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
参考資料 序論・基本構想 20p	<p>【第1章 将来都市像】</p> <p>将来都市像の「豊かな自然と人の和が織りなす」部分は、「富士山を心に」との繋がりを考えると、「人の和と豊かな自然が織りなす」とした方が良いのではないかと。その方が、説明文にある「富士山を誇りに暮らす人々が、互いに支え合う」との考えがはっきりと伝わる将来都市像になるのではないかと思います。</p>	企画戦略課	<p>富士山とともに発展してきた富士宮市は、少子高齢化や人口減少という課題に直面する中でも、その恵まれた自然環境を最大限に活用し、富士山を誇りに暮らす人々が、互いに支え合うことで、市民一人ひとりが幸せを感じられるまちを共に創りあげるとの考えから、将来都市像を定めています。</p> <p>提案いただいた内容は、将来都市像の趣旨が変わるものではありませんので、言葉のつながりを考慮する中でより良い表現になるよう検討してまいります。</p>	加納永子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

ページ	意見・要望	担当課	対応	質問者
資料1 P60	<p>【基本目標5 産業】 政策1（労働・雇用）</p> <p>富士宮には、自然豊かな土地を活用した農業が多くあります。現在の若い世代は、「働きがい」や「ワークライフバランス」を重視する傾向があり、都会にはない富士宮ならではの「働きがい」をアピールすることで、今後の農業の担い手確保につながると考えます。</p> <p>また、市内でも個人事業主やフリーランスの方が増えてきており、「自分の好きなことを自由に仕事にしたい」という考え方が広まりつつあります。従来の「企業に勤める」という働き方に加え、企業からの委託など新しい働き方を支援することも、市として検討いただけたらと思います。さらに、県外の学生や若い女性の中には、自ら起業したいと考えている方も多くいます。こうした若者や女性の起業を応援できる支援事業も、今後の取り組みとして検討いただきたいと思います。</p>	商工振興課	<p>地方には、都会にはない地域に根差した働きがいがあります。自然環境や地域資源、伝統産業に関わることで、日々の仕事地域社会の発展に直結しているという実感を得ることができ、それが労働者の働きがいにつながると考えます。</p> <p>富士山を抱く富士宮市は、まさしくそういった地域資源の宝庫であり、都会にはない可能性を秘めた場所であると思いますので、労働の観点からも特徴的な環境をおおいにアピールしてまいりたいと考えます。</p> <p>また、受託希望者とのマッチング支援など、時代のニーズに合った柔軟な働き方の促進に係る企業への情報提供等を進めてまいります。</p> <p>若者、女性等の起業に関しては、現在も中小企業総合支援事業（ビジネスコネクトふじのみや）において「創業支援セミナー」、「女性向け創業支援セミナー」を実施しているところでございます。</p> <p>今後も、「ビジネスコネクトふじのみや」による起業サポートや資金面、事業計画等の相談、地域企業とのマッチング支援などの各種伴走支援を継続し、インキュベーション施設やコワーキングスペースの提供など、多様な人材が多様な働き方を選択できる環境の整備を進めてまいります。</p>	金子充子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料2 P8	<p>【取組2 若者や女性にも選ばれる地域づくり】</p> <p>議会でも何度か意見が出ましたが、重点プロジェクト2の表現について「若者や女性にも選ばれる地域づくり」とあると、その後の文面が、出産や子育てが女性だけの課題であるかのように受け取られる可能性があると感じました。結婚・出産・子育ては、男女を含めた若い世代全体に関わるライフイベントであり、「女性」だけに限定する表現に伝わるのは避けるべきかと思います。そのため、「多様性を尊重し、若い世代にも選ばれる地域づくり」というような表現にした方が、人口減少対策としての趣旨を保ちつつ、誤解のない形で幅広い若者の希望を含められるのではないかと思います。</p>	企画戦略課	<p>この表現は、人口減少対策の柱のひとつとして「若い世代の定住・定着を進め、地域の活力を長期にわたり維持する」ことを掲げており、国の地方創生の取組にも深く関連しています。</p> <p>結婚・出産・子育てといったライフイベントが、性別を超えて若い世代全体に関わるものであることを前提に、本市が、若者や女性から見て、魅力あるまちとなり、若者や女性からも選ばれるまちになることを目指すことが、本市への人の流れを促進する重要な要素になると考え、このような表現としておりますので、ご理解ください。</p>	金子充子
資料1 P98	<p>【基本目標7 共創】 (政策4まちのブランド形成)</p> <p>移住・定住の促進について、移住交流センターでの企画に関わった経験から感じたことがあります。全国の他の市町村と比べた場合、富士山や自然以外の魅力も積極的にアピールする必要があると考えます。シティーセールス事業の中で、富士宮市ならではの独自の魅力をさらに深く掘り下げ、発信していくことが重要なのではないかと思います。今回、移住交流センターで開催した交流会で、富士宮に来たことがある方々からお話を伺う中で、私自身も改めて富士宮の魅力を再認識しました。富士宮市内にいる私たちだけでなく、都心部の方々を巻き込んだ交流会の開催や、市外の人の声も取り上げる事が、移住促進や関係人口、地域の魅力発信に有効ではないかと考えます。</p>	企画戦略課	<p>移住・定住の促進や関係人口の創出を進めるうえで、富士山や自然だけに依拠するのではなく、本市ならではの歴史や文化など、独自の魅力を深掘りして積極的に発信することは、重要なことだと考えています。</p> <p>そのため、地域住民と移住希望者との交流機会の充実を図るなど、市外の方々からの声をしっかりと聴き、ニーズに合った窓口の創設など、移住定住支援体制づくりを進めるとともに、定住することが難しい人には、「関係人口」の創出や都市と地方に生活拠点を持つ「二地域居住」を推進していくこととしています。</p>	金子充子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 P66,67 ,72	<p>【基本目標5 産業】</p> <p><u>政策4（観光）</u></p> <p>基本方針に「国内外からの観光客の誘客を図ります」とあるが、達成状況を測るための指標を「観光交流客数」や「宿泊客数」ではなく、「1人あたり平均観光消費額（宿泊費を除く）」としている。同消費額が宿泊者への聞取りに基づくものだとすると、インバウンド（訪日旅行者）の消費額が反映されないおそれがあり、指標として十分なものか。インバウンドも含めた宿泊客数を確実に数値としておさえ、指標とすべきと考える。</p>	観光課	<p>「1人あたり平均観光消費額（宿泊費を除く）」については、宿泊施設を含めた主要観光施設等でインバウンドを含めた旅行者に対して調査をする予定です。</p> <p>ご意見のとおり、これまでと同様、「観光交流客数」や「宿泊客数」についても指標として残すように修正します。</p>	市川 顯
----------------------	---	-----	--	------

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 68	<p>【基本目標 5 産業】</p> <p>施策 5（農林水産業）</p> <p>施策の内容 1 生産基盤の整備促進</p> <p>① 1つ目の「○農地中間管理事業の活用による農地の集積・集約化を進める」ことは、これからの効率的で収益性を高める農業経営に欠かせないものです。しかし、条件の悪い農地は担い手への集積・集約化の支障となることから、より良い営農条件が整うよう生産基盤の推進も並行して進める必要があります。そのため、「○農地中間管理事業の活用とともに農地や農業水利施設などの基盤整備を推進し、農地の集積・集約化を進めます。」と掲げた方がいいのではないのでしょうか（内容追加）。農地中間管理事業の活用と基盤整備の推進は、集積・集約化を進める上で両輪のツールであると考えます。</p> <p>② 2つ目の「○遊休農地の活用を図り、優良農地の整備や保全に努めます」ですが、遊休農地の解消が、優良農地の整備に繋がるように間違っ て解釈されることを避けるため、順番を入れ替えて、「○優良農地の整備や保全に努めるとともに、遊休農地の解消を図ります。」とされたらいかがでしょうか。</p> <p>③ 6つ目の「○森林の適正管理と木材生産の持続的な確保を図るため」とありますが「森林の適正管理と<u>持続的な木材生産を促進するため</u>」としたほうが、民間事業者等が持続的、計画的に木材生産を継続出来るよう支援する市の立ち位置がはっきりするのではないのでしょうか。</p>	農業政策課	<p>① ご指摘のとおり「○農地中間管理事業を活用するとともに農地や農業水利施設などの基盤整備を推進し、農地の集積・集約化を進めます。」に内容を修正します。</p> <p>② ご指摘のとおり「○優良農地の整備や保全に努めるとともに、遊休農地の解消を図ります。」に内容を修正します。</p> <p>③ ご指摘のとおり「○森林の適正管理と持続的な木材生産を促進するため、基盤整備を推進します。」に内容を修正します。</p>	深野智恵子
-----------	---	-------	---	-------

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 68	<p>【基本目標 5 産業】</p> <p>施策 5（農林水産業）</p> <p>施策の内容 2 安定経営のための支援の強化</p> <p>・5 つ目「〇林業関係者と～木材利用の拡大を推進します。」ですが、木材利用でのままでも構わないと思いますが、実際に推進している「<u>富士ヒノキ材</u>」の需要拡大や「<u>富士ヒノキのブランド化</u>」などの取組の記載があればさらによいのではないのでしょうか。</p>	農業政策課	<p>実際の取組である「富士ヒノキ」に関しては、個別事業となるため特出しはせず、柔軟に対応してまいりたいと思います。</p>	深野智恵子
資料1 69	<p>【基本目標 5 産業】</p> <p>施策 5（農林水産業）</p> <p>施策の内容 3 農林業資源の保全と活用</p> <p>① 3 つ目の「〇J-クレジット制度を用いて、市有林の持続可能な森林管理を行います。」について、おそらくJ-クレジット制度により得た資金を活用し、市有林が持続可能な（循環利用が出来る）森林資源となるよう、管理を進めることを意味していると思いますので、「J-クレジット制度を活用して、市有林の適切な管理を継続的に行います。」、あるいは「J-クレジット制度を活用し、持続可能な森林資源となるよう、市有林の適切な管理を推進し(行い)ます。」などどされたいかがでしょうか。</p> <p>② 主要な事業の冒頭もしくは 3 番目くらいに、現在富士宮市でも実施し基盤整備(更新も含む)を行っている「(事業名)農業農村整備事業(事業の内容)農業の生産性向上等に資する事業」を入れた方がいいのではないのでしょうか。</p>	農業政策課	<p>① ご指摘のとおり「〇J-クレジット制度を活用して、市有林の適切な管理を継続的に行います。」に修正します。</p> <p>② 基盤整備については必要なことでありますが、個別の事業名に関する特出しはせず、柔軟に対応してまいりたいと思います。</p>	深野智恵子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 72	<p>【基本目標5 産業】</p> <p>基本目標5「産業」の達成状況を図るための指標</p> <p>1) 客観指標</p> <p>「森林間伐実施面積」を指標として掲げていますが、『産業の指標』としては、近年着実に増加している「木材生産量」のほうが、ふさわしいように思います。あるいは、「森林整備面積」（森林の健全性を保ち、多面的機能を発揮させるために、造林・保育・間伐・主伐などの施策を計画的に行う活動の規模を表すもの）などとされた方がいいのではないのでしょうか。間伐面積に限ると、地域の森林の活用の実態を十分表していないように思えます</p>	農業政策課	多面的機能の維持・向上の面や他団体との比較の面もあるため、変更なしとさせていただきます。	深野智恵子
資料1 82	<p>【基本目標6 都市整備】※当日の発言の趣旨</p> <p>施策5（治山・治水）</p> <p>施策の内容1 治山・治水事業の推進</p> <p>・2つ目の「○森林が持つ公益的機能を保全するため、必要な森林は保安林の指定を国・県に要請します」とありますが、「森林が持つ公益的機能を保全するため」にまず必要なことは、健全な森づくり（適正な管理）です。保安林に指定されても、制限林となることから開発の可能性はかなり低下しますが、森林管理を一義的に担うのは森林所有者であることは変わりません。そのため、市としては、例えば「○災害に強い森づくりを進めるため、間伐、再造林などの森林整備を促進します。」などと、項目あるいは内容を追加された方がいいのではないのでしょうか。</p>	農業政策課	ご指摘の通り、2つ目の「○森林が持つ公益的機能を保全するため、必要な森林は保安林の指定を国・県に要請します」は、1つ目の内容に含まれるため削除し、災害に強い森づくりの推進も含め、「○森林が持つ公益的機能を保全するため、森林整備に努めます」に内容修正します。	深野智恵子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 82	<p>【基本目標6 都市整備】※当日の発言の趣旨</p> <p>施策5（治山・治水）</p> <p>施策の内容3 災害の未然防止の対応</p> <p>○古くから発生していた芝川流域の洪水被害を防止するために、昭和55年に大倉川農地防災ダムを建設し、現在でも県は市の御協力をいただき運営しています(毎年の点検、管理、降雨時の出動等)。まさに災害の未然防止のための施設ですので、例えば「○大雨などによる農業被害等を防止するため、県と連携を図り、大倉川農地防災ダムの適切な運用に努めます。」などと、項目を追加いただいた方が適切と思います。</p>	河川課	<p>ご意見のとおり、大倉川農地防災ダムも治水のための重要な施設と考えておりますので、これまでの表現を護岸やダムなどの施設全般を示す必要な施設という表現にしました。</p>	深野智恵子
資料2 全体	<p>市が部局横断的に取り組んでいることは理解できますが、プロジェクト数が多すぎるため、何に重点を置いているのかが捉えにくい状況になっているように見受けられます。</p> <p>イメージ図などで、施策の関わりと全体の姿が一目でわかるようなものがあるとインパクトも増し、理解が促進されると思います。</p>	企画戦略課	<p>「4つの取組を進める重点プロジェクト」は、「基本構想」で定めた本市が目指す「将来都市像」を実現するための「4つの取組」に基づき、富士宮市が総力を挙げて、重点的に取り組んでいく、組織横断的なプロジェクトを示したものとなっています。</p> <p>また、この重点プロジェクトは、富士宮市の「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねたものとしており、多くの人に本市の地方創生の方向性を理解していただく必要があります。最終的に冊子にする際には、レイアウトやデザインを工夫するとともに、概要版などでは、よりわかりやすくしていきます。</p>	深野智恵子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料2 3	<p>※当日の発言の趣旨</p> <p>プロジェクト3 自然を守り～つなぐ</p> <p>説明文にある単語が難しく正しく意味が伝わらないと思います。</p> <p>・「生態系サービスを地域へ還元」生態系サービスの定義が市民にはわかりにくいため、言葉を使うのであれば注釈等が必須と思います。</p> <p>「地域へ還元」についても、おそらく何を意味しているのかがわかりにくく、言い換えた方がいいかもしれません。</p> <p>・「～に結びつけるなど、誰も取り残さない持続可能な社会を目指します」についても、どう結びつくのか、なぜ誰も取り残さない社会に繋がるのかがよくわかりません。</p>	企画戦略課	<p>「生態系サービスを地域へ還元」とは、生態系を地域の資本として位置付け、自然への負荷を抑えつつ恩恵を最大化する地域づくりを推進することを示しております。</p> <p>また、これらの生態系サービスには、気候変動対策・適応、防災・減災、資源循環、健康づくりといった社会課題の解決と結びつけ、それぞれの領域で相乗効果を生み出す効果があり、気候変動の影響を和らげ、災害リスクを低減し、資源の循環を高め、誰もが健康と生活の質を向上することが期待できることから、それを進め、持続可能な社会の実現を目指していくとしたものです。なお、表現については、もう少し分かりやすいものになるよう修正の方向で検討していきます。</p>	深野智恵子								
資料2 3	<p>プロジェクト3 自然を守り～つなぐ (関連する主な取組)</p> <p>表の一番下の（農林業資源の保全と活用）の（概要）<u>農地や農業水利施設などの基盤整備を推進、</u>に（取組）に市に事業費を御負担いただいている「農業農村整備事業」を追加していただけないでしょうか。</p> <p>また、森林環境譲与税事業は、地域の実情に合わせ、既存事業ではできない取組を行うため、既存事業の記載も併せてできないでしょうか。</p>	企画戦略課	<p>プロジェクト3「自然を守り活用することで、地域の力を未来へつなぐ」は、富士宮市の豊かな自然を守ること、市民の暮らしを豊かにし、市民が誇りを持てる自然豊かなまちを築くことを目的に、重点的に取り組んでいく、組織横断的なプロジェクトを示したものとなっています。</p> <p>このプロジェクトで重視する取組は、「農林業資源の保全と活用」の中でも、私有林の適切な管理や畜産堆肥の利用促進など、自然保全や活用に資する主な取組として、森林環境譲与税の活用を挙げております。</p>	深野智恵子								
<table><tr><td>具体的な施策</td><td>概要</td><td>取組</td></tr><tr><td rowspan="2">農林業資源の保全と活用</td><td><u>農地や農業水利施設などの基盤整備の推進、優良</u></td><td><u>農業農村整備事業(追加)</u></td></tr><tr><td><u>農地の整備や保全に努めるとともに、遊休農地の解消を図ります。森林～</u></td><td>遊休農地～ 〇〇事業（既存の事業名） 森林環境～</td></tr></table>					具体的な施策	概要	取組	農林業資源の保全と活用	<u>農地や農業水利施設などの基盤整備の推進、優良</u>	<u>農業農村整備事業(追加)</u>	<u>農地の整備や保全に努めるとともに、遊休農地の解消を図ります。森林～</u>	遊休農地～ 〇〇事業（既存の事業名） 森林環境～
具体的な施策	概要	取組										
農林業資源の保全と活用	<u>農地や農業水利施設などの基盤整備の推進、優良</u>	<u>農業農村整備事業(追加)</u>										
	<u>農地の整備や保全に努めるとともに、遊休農地の解消を図ります。森林～</u>	遊休農地～ 〇〇事業（既存の事業名） 森林環境～										

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料2 12	<p>プロジェクト5 地域の未来を拓くU I J ターンを促進する</p> <p>※当日の発言の趣旨</p> <p>農業、林業の担い手対策についても取り組んでいただいているところであり、6次産業化して、観光や地域経済にも好影響を与えている成功事例も散見されています。1次産業でのこれらの人材確保の取組などについても記載し、幅を広げてはいかがでしょうか。</p>	企画戦略課	<p>U I J ターンを促進するためには、様々な知識やネットワークを持ったサポーターや市内外の相談窓口を充実させて、多様なニーズに対応したきめ細かな支援を行う必要があります。</p> <p>特に、農業や林業の担い手確保は、地域の深刻な課題でもありますので、希望者に1次産業を含めた幅広い暮らし方の提案ができる受入体制を築くことは、地域の未来を拓くうえで重要なことの一つだと考えています。</p>	深野智恵子
資料3 5	<p>4 基幹道路を活用した産業基盤の整備</p> <p>4 農林水産業の振興</p> <p>・昨年度、富士宮市では「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律」に基づき、10の地区について地域の農地利用の将来像を明確化した地域計画を策定されました。これを、本文中に挿入されてはいかがでしょうか。例えば、中段に「また、営農環境を整えるため、～育成強化のほか、<u>地域計画に基づき農地の集積・集約化</u>、荒廃農地の再生、～」とされてはいかがでしょうか。</p>	企画戦略課	<p>ここでの「農林水産業の振興」は、「基幹道路を活用した産業基盤の整備」の基本方針のもと、施策の内容として示したものとなります。第1次産業から第3次産業までの産業間の連携を強化するとともに、新たな産業用地を確保していくため、既存集落の維持に向けた住宅政策と併せ、基幹道路やインターチェンジ周辺への産業誘導を図るとしています。</p> <p>「農林水産業の振興」部分の表記につきましては、他項目とのバランスも考慮した上で検討します。</p>	深野智恵子
資料3 10	<p>※当日の発言の趣旨</p> <p>・上段の表「4 林業・森林保全地域」の土地利用方針では、地域の実態に即して、<u>林業地域、採草地などの利用を図る</u>とありますが、下段の緑・産業振興地域に指定され<u>産業の立地を推進する</u>とされており、記載内容が矛盾しているように見受けられます。上段の記載内容を現状に合わせて変更していただくか、〇〇の条件を満たしたものについて産業の立地を推進する、など、丁寧な説明を加えた方がよろしいのではないでしょうか。</p> <p>・上段の表「5 林業地域」の土地利用方針の最後に、「再生産を図る」とありますが、どういう意味かわかりにくいです。林業地域としての土地利用の方針のため、「森林の経済機能を持続的に高度に発揮するため、森林の保全と、木材や特用林産物の生産（または森林資源の循環利用）の促進を図る」などとされてはいかがでしょうか。</p>	企画戦略課	<p>ご指摘の内容は、「地域区分別の土地利用方針」の表と「政策推進エリア」の表について説明が無いことと、「政策推進エリア」を設定する目的が示されていないことが要因かと思いますので、説明を加えるように検討していきます。</p> <p>また、「林業地域」の土地利用方針につきましても、より分かりやすい表記になるよう検討します。</p>	深野智恵子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 60	<p>【基本目標5 産業】</p> <p>政策1（労働・雇用）</p> <p>外国人の雇用に関して、富士宮市としては推進をする、という回答をいただきました。全国的な問題として推進をしていくことには同意ではありますが、文化や言語、宗教などの違いを、双方（外国人と富士宮市民）の理解と偏見のないよう、行政としても取り組んでいただきたい。また双方が安心し安全で共存できる環境づくり行なっていただきたい。</p>	商工振興課	<p>地域産業における人材不足の解消に向け、外国人労働者の受入れの推進は重要な課題であり、外国人材の生活・就労に関する相談体制の整備、日本語学習や多文化理解の支援を充実させるなど、双方が安心して暮らせる環境の確保の推進を図ってまいります。</p> <p>また、事業者向けに適正な雇用管理や定着支援の取組を促進し、地域住民との交流機会を創出するなど、外国人と地域が共に活躍できる共生社会の実現を目指します。</p>	森谷健久
資料1 62	<p>【基本目標5 産業】</p> <p>政策2（企業誘致・留意）</p> <p>富士山の湧水＝水資源や、豊富な地域資源＝森林などの自然環境に配慮した企業誘致・留意を行なっていただきたい。水資源確保のための土地買収、ソーラーパネルの設置による森林伐採などが行われないよう行政の指導を推進していただきたい。</p>	商工振興課	<p>富士山をはじめとする本市の特徴的な地域資源の魅力を活用しながらも、富士山の保全と調和した企業誘致及び留置を推進していきます。</p> <p>富士山の自然環境を守りながら、法令遵守を徹底した適正な土地利用を行い、持続可能で環境にやさしい産業の集積を目指してまいります。</p>	森谷健久
資料1 84	<p>【基本目標6 都市整備】</p> <p>政策6（公園）</p> <p>移住定住の促進のための施策として「子育てがしやすい街」であることが重要と考えます。公園の新規設置と再整備の推進、例えば柚野地域にある「富士山縄文の里大鹿館」などに遊具を設置するなど、既存の施設に公園の設備を導入するなどを検討していただきたい。</p>	花と緑と水の課	<p>公園の新設は、令和6年7月に山本高原公園をオープンし、再整備については、外神東公園に大型複合遊具を設置し、城山公園の再整備事業にも着手しております。</p> <p>公園の施設整備は、子育てがしやすい街づくりを意識し、より効果的に施設を導入したいと考えております。</p>	森谷健久
資料1 86	<p>【基本目標6 都市整備】</p> <p>政策7（上下水道）</p> <p>安全で安定した水の供給という意味で、他県の事例にあったような民営化とそれに伴う海外企業への売却が行われないことを望みます。</p>	水道業務課	<p>水道は市民の大切なライフラインであり、責任を持って運営していくことの重要性を十分認識しています。市民に対し安全・安心な飲料水の安定的な提供を行うために民間活用等は必要最小限に留め、今後も市の上水道事業として細やかなサービスの提供に努めていく方針です。</p>	森谷健久

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 89	<p>【基本目標7 共創】</p> <p>政策2（市民協働）</p> <p>他委員より意見のあった「市民協働」という言葉に関して。例えば「市民共創」もしくは「民官協働」という言葉も考えられます。ご検討ください。</p>	市民交流課	<p>庁内で検討しましたが、本市では「市民協働」という言葉を従来から使用しており、現計画の第5次総合計画においても使用しています。また、市民の皆さまにも浸透しているため、このまま「市民協働」として表記していきたいと考えています。</p>	森谷健久
資料1 97	<p>【基本目標7 共創】</p> <p>政策4（まちのブランド形成）</p> <p>主な事業間での連携にあわせて、広報事業と観光事業とも連携をし、富士宮市全体としての「まちのブランド形成」を行うことにより「愛されるまちづくり」を推進していただきたい。そのために市民として全力で協力をしていきます。</p>	企画戦略課	<p>「まちのブランド形成」は、地域の歴史や文化、自然環境、産業などの資源を活かし、それらを一体的に活用して地域のアイデンティティを明確に打ち出すことが重要だと考えています。</p> <p>そのためには、市民の皆さまをはじめ、市外の人も含めた様々な人とのつながりを創出していくことが必要だと考えています。</p>	森谷健久
資料2 3	<p>1 地域の魅力をいかしたにぎわいづくり</p> <p>【プロジェクト3（自然を守り活用～）】</p> <p>【基本目標5 産業】政策2（企業誘致・留意）と同様の内容ですが、富士山の湧水＝水資源や、豊富な地域資源＝森林などの自然環境に配慮した企業誘致・留意を行なっていただきたい。水資源確保のための土地買収、ソーラーパネルの設置による森林伐採などが行われないよう行政の指導を推進していただきたい。</p>	企画戦略課	<p>本市が誇る豊かな水資源や自然環境は、製造業や農業、畜産、養鰯、林業、観光など様々な産業を生み出し、多くの市民の生活を支えています。</p> <p>今後も、本市の持つ豊かな水資源や自然環境を、バランス良く保全し活用していくことで、その価値をさらに高める産業振興を図ることが重要だと考えています。</p>	森谷健久
資料2 16	<p>3 安心して健やかに暮らせる幸せづくり</p> <p>【プロジェクト3（世代を超えて支え合い～）】</p> <p>若い世代としての「中高生」や「主婦」も含んだ世代で課題に取り組んで行くことも大切だと思います。</p>	企画戦略課	<p>ご指摘のとおり、将来都市像に掲げた「幸せ感じる富士宮」の実現には、「人の和」が欠かせないものであり、様々な世代が互いに学び合い、地域全体の力を結集することが重要だとお考えしています。</p>	森谷健久
資料2 18	<p>3 安心して健やかに暮らせる幸せづくり</p> <p>【プロジェクト5（安心して住み慣れた～）】</p> <p>外国人の雇用を推進していく際に「多文化共生社会の醸成」と「防犯対策の強化」は最重要課題でありますので、より重点的に取り組みを推進していただきたい。</p>	企画戦略課	<p>外国人の雇用を進めていくうえで、外国人市民が地域の行事や活動に積極的に参加できる地域づくりや、地域が一体となって犯罪を防止する体制を強化することが、ますます重要になります。「多文化共生社会の醸成」と「防犯対策の強化」を、本市が総力を挙げて、重点的に取り組む組織横断的なプロジェクトに位置付けております。</p>	森谷健久

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料2 21	<p>4 明るい未来を支える人づくり</p> <p>【プロジェクト2（学びを力に～）】</p> <p>グローバル人材の育成での都市交流にあわせて、国内地方都市との「越境交流」を行うことにより、同じ課題を持つ人材育成につながると思われますので、取り組みへ検討いただきたい。関係人口の創出にもつながる取り組みになるかと考えます。</p>	企画戦略課	<p>国が進める「広域リージョン連携」の考えにもあるとおり、富士宮市が、未来を担う人材の育成や市外に住みながら継続的に地域に関わる人を創出していくには、多様な主体と連携していくことが、今後ますます重要になります。そうしたことから、プロジェクト3の「富士宮市の応援団を増やし、共に明るい未来を創る」の具体的な施策に「多様な主体との連携強化」を位置付け、行政課題の解決に向けて、国・県・市町村、企業、大学など多様な主体と広域的に連携強化を図るとしております。</p>	森谷健久
資料3 2,3,5	<p>【基本目標5 産業】政策2（企業誘致・留意）と同様の内容ですが、富士山の湧水＝水資源や、豊富な地域資源＝森林などの自然環境に配慮した企業誘致・留意を行なっていただきたい。水資源確保のための土地買収、ソーラーパネルの設置による森林伐採などが行われないよう行政の指導を推進していただきたい。</p>	企画戦略課	<p>本市が誇る豊かな水資源や自然環境は、製造業や農業、畜産、養鱒、林業、観光など様々な産業を生み出し、多くの市民の生活を支えています。</p> <p>今後も、本市の持つ豊かな水資源や自然環境を、バランス良く保全し活用していくことで、その価値をさらに高める産業振興を図ることが重要だと考えています。</p>	森谷健久
資料1 84ページ	<p>【基本目標5 産業】</p> <p>政策6（公園）</p> <p>公園というのは、心癒され楽しめるという場所だけではなく、コミュニティの醸成や環境学習、生涯学習、防災、観光資源等、多くの可能性に満ちた場所だと思います。そして、その根底には自然があると思います。様々なニーズに応じるため、ゾーニング等あるかと思いますが、富士宮在来の豊かな自然を残し、富士宮らしい自然を有した公園にすることで、公園の価値はより高まっていくと考えます。市民にとって公園は一番身近な自然との接点です。「自然に囲まれた環境でゆったりと暮らす」ことを望む市民が多い中、将来都市像として「豊かな自然と人の和が織りなす幸せ感じる富士宮」を掲げるのであれば、自然との共生という視点は必要不可欠です。自然を守りながら活用していくという考えをぜひ、目指すまちの姿や基本方針に組み込んでいただきたいです。</p>	花と緑と水の課	<p>公園にも様々な種類があり、住宅街にある広場や遊具を主とする公園や、白尾山公園、明星山公園、天母山自然公園、朝霧自然公園、白糸自然公園及び万野風穴池田公園などの自然に囲まれた公園、他にはスポーツ広場や潤井川沿いの緑地などがあり、市民は様々な形で公園に接する機会があります。</p> <p>公園により期待するべき機能に違いはありますが、自然に囲まれた環境でゆったりと暮らすことを望む市民の御要望に応えられるように、個別の政策の中で対応していきたいと考えております。</p>	小野亜季子

第6次富士宮市総合計画（案）に係る意見・要望等に対する対応（第4回審議会）

資料1 85ページ	<p>【基本目標5 産業】</p> <p>政策6（公園）</p> <p>基本目標2の客観目標にOECMの面積とありますが、公園はまさにOECMになる場所です。市民が富士宮の自然に触れることができ、その公園で癒され楽しみ、そしてその場所が生物多様性を資する場所として社会的に認められれば、「豊かな自然と人の和が織りなす幸せ感じる富士宮」の象徴になるのではないのでしょうか。そういった意味でも、関連する事業として生物多様性地域戦略は関わってこないのでしょうか。</p>	花と緑と水の課	<p>本市丘陵地などにある公園は、十分に自然共生サイト・OECMの素養を備えていると考えます。公園の自然に心癒され、楽しむことが将来にわたってできるよう、運営していく所存です。</p> <p>基本目標2の環境、政策3の自然環境で生物多様性の保全の推進を施策に位置づけ、今後、生物多様性地域戦略として、市域全体の中から丘陵地などにある公園も検討していくことになると考えております。</p>	小野亜季子
--------------	--	---------	---	-------